

令和5年度 福岡小学校 学校評価計画

重点目標 (めざす姿)	具体的方策	主担当	【評価指標】	【評価の根拠】 達成度判断基準
1 組織的な 学校運営	①<安全・安心で楽しい学校づくり> 児童が安心して明るく元気に学校生活を送れるよう、物心両面における安全管理と危機管理に努め、いじめ・不登校等の未然防止をはじめ、課題に組織的に迅速・丁寧に対応する。	教頭・ 生徒指導主事	学校全体として危機管理意識を高く持ち、いじめ・不登校等に対して日頃の「気づきと見取り」をはじめ、定期的な児童アンケートや面談等を通して早期発見に努めている。	【児童アンケート】 ・学校は楽しい。 ・先生や友達、自分のよいところを認めてくれる。 【保護者アンケート】 ・お子さんは、楽しく学校へ通っていると思う。 【教職員アンケート】 ・いじめや不登校等の課題に、組織として迅速・適切に対応している。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	②<主体的・協働的な学校づくり> 学校運営の状況や課題及び学力の傾向や課題について、全職員が共有し、組織的・計画的に取り組むと同時に、教職員のキャリアアップを図る。	教頭	主任層が中心となり、各種ロードマップの取組が、明確なねらいのもとに組織的・計画的に行われるとともに、PDCAの実働化を図っている。	【教職員アンケート】 ・各種ロードマップの取組が組織的・計画的に実践され、検証を経て改善されている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	③<業務改善> 教職員が常に時間管理や環境整備、ワークライフバランスの意識を保持し、ICTの活用・デジタル化の推進、SSS、専門スタッフとの協働を効果的に進めながら、業務のスリム化を図る。	教頭	児童と向き合う時間の確保や多忙化改善に向け、業務の見直しや改善策が図られている。	【教職員アンケート】 ・ICT活用・デジタル化による業務の平準化とスリム化、SSSや専門スタッフとの協働等により、業務改善を進めている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
2 知(確かな 学力の 育成)	①<学力向上と授業改善> 授業改善に向けた研修(OJTを含む)を充実させる。 自校の学力の傾向と課題とその改善策を共有し、「学力向上プラン」及び「学力向上ロードマップ」の確実な実施を行う。	教務主任	授業改善の意識を常にもって研修し、目標達成にこだわった授業を積み上げている。 自校の課題を共有し、学力の向上が児童の実感となっている。	【教職員アンケート】 ・学力の傾向と課題、その改善策について教職員の間で共有し、学力向上プランに基づいた共通実践をしている。(能美市) ・研修(OJT)で学んだことを授業改善にいかしている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	②<基礎基本と活用力の育成> 「きらめきシステム」を充実させ、基礎的知識・技能の定着及び活用力の育成を図る。	教務主任	「きらめきシステム」が組織的・計画的に運営され、基礎・基本の定着及び活用力の育成に成果として表れている。	【学期末テスト】 ・国語・算数・社会・理科の学期末テストの平均点 A: 90点~ B: 80点~ C: 70点~ D: 70点未満 【保護者アンケート】 ・子どもの家庭学習が習慣となっている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	③<学ぶ喜びと達成感のある授業づくり> 算数科を中心に、児童が主体的に学び、目標達成する授業を目指す。 個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業づくりの研究を推進する。	研究主任	児童が、自分にあつた学び方を選びながら学習を進めることができている。 児童が、協働的な学びの良さを感じている。	【児童アンケート】 ・自分が選んだ学び方で前向きに授業に参加している。 ・友達と意見を伝え合ったり、自分の考えをもう一度見直したりすることで、考えが深まっている。 【教職員アンケート】 ・児童の主体的・協働的な学びを支えるための工夫・改善をしている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	④<GIGAスクール構想の推進> GIGA校内研修推進リーダーを中心に、クロームブックの効果的活用をねらいとして年間計画に沿った研修を行うことで、全教員が「児童が一人一台端末を活用して学ぶ授業」の実践力をつける。	GIGA推進リーダー 校内研修	GIGA校内研修が計画的に行われ、全教職員が1日2時間以上の使用を目標にし、「児童が一人一台端末を活用して学ぶ授業」の実践を交流している。	【児童アンケート】 ・授業で、ICT機器を使って学ぶよさを感じている。 【教職員アンケート】 ・研修や実践交流をいかして、ICTを効果的に活用した授業を行っている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
3 徳(豊かな 心の 育成)	①<道徳・人権教育の推進> 道徳の重点項目(希望と勇氣、努力と強い意志、よりよい学校生活、集団生活の充実)を中心に、道徳の時間を充実させる。 豊かな体験をいかに、教育活動全体を通して心に響く道徳教育を推進する。	道徳教育推進 教員	教育活動全体で、体験的な活動を通して、重点項目を中心に、心に響く道徳教育を行っている。 道徳の授業や学習履歴を公開し、校内だけでなく保護者と地域にも発信している。	【児童アンケート】 ・道徳の時間に、自分の考えを深めたり新たな考えに気づいたりしている。 【教職員アンケート】 ・教育活動全体を通して人権尊重の精神や道徳の実践力を育てている。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	②<積極的な生徒指導> 共感の人間関係を育む言葉を豊かにする取組や、QUの結果の効果的活用をする。 児童が主体的に取り組む、達成感をもてるよう実践を進める。	生徒指導主事	親和的な学級づくりが進み、自己肯定感や共感的な人間関係が醸成されている。 個性や多様性を認め合い、児童に考えさせながら、成長や発達を「支える」生徒指導に努めている。	【児童アンケート】 ・友達の頑張りやよさを認めたり、励ましたりする言葉かけをしている。 ・自分には、よいところがあると思う。 【教職員アンケート】 ・個々の児童のよさを認めたり、励ましたりする言葉かけをしている。 A: +評価90%以上 B: 80%以上 C: 70%以上 D: 70%未満
	③<居心地のよい集団づくり> 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくりを推進し、児童が主体的・協働的に、「より良い学級・学校を自分たちでつくる」という意識を高める。	生徒指導主事	児童一人一人が「よりよい授業・学級・学校を自分たちでつくる」意識を持ち、あたたかい気持ちで行動している。 児童が、自分から気づいた「よいこと」を行動に移す意識が高まっている。	【児童アンケート】 ・話し合うときは、友達の思いや考えを大切にしている。 ・自分から気づいた「よいこと」を行動にしようとしている。 【教職員アンケート】 ・生徒指導の4つの視点を意識した授業を実践している。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
4 体(健康 やかな 身体 の 育成)	①<基礎体力づくりと体力の向上> 体育の授業の充実と1校1プランに基づく体力づくりを推進する。	保健体育部	スポーツテストの結果や体力チェックシートをいかり、ICTを効果的に活用した授業を工夫している。 児童が、個人や集団として立てた目標に向かって意欲的に運動に取り組んでいる。	【児童アンケート】 ・体育の学習で、めあてを持って粘り強く取り組んでいる。 【教職員アンケート】 ・スポーツテストの結果や体力チェックシートをいかり、ICTを効果的に活用した授業を工夫している。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	②<健康生活の推進> 姿勢、食事、歯と口の健康に関心を持ち、健康な生活習慣づくりに向けて、主体的に取り組む児童を育成する。	保健主事	児童が、健康な生活について保健指導や学校保健委員会で学んだことを、日常生活で実践している。	【児童アンケート】 ・健康な生活づくりに、進んで取り組んでいる。 【教職員アンケート】 ・健康生活の推進を養護教諭や保健委員会等と連携して取り組んでいる。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	③<メディアコントロール力の育成> 保護者・地域と連携して、デジタルシチズンシップ教育を推進し、児童のメディアコントロール力の育成を図る。	保健体育部	「生活見直し週間(各学期)」および「アウトメディア(毎月23日いわく読書の日)」の取組を通して、児童自らメディアの使用をコントロールしている。	【児童・保護者アンケート】 ・「生活見直し週間」「アウトメディア」の取組のめあての達成率 A: +評価85%以上 B: 75%~ C: 65%~ D: 65%未満
5 家庭・ 地域 との 連携	①<保護者・PTAとの連携による社会性の育成> 保護者と連携して、PTA活動の活性化と児童の社会性の育成を図る。 児童・保護者が参画意識を持って、あいさつ等、社会性の育成に取り組む。	教頭	PTA活動の趣旨が理解され、協働意識が高まるとともに、学校やPTA・地域の活動や行事に、保護者が積極的に参加している。	【児童アンケート】 ・家庭、地域、学校で、自分から挨拶をしている。 【保護者アンケート】 ・お子さんは、地域の方等に進んで挨拶したり、地域に関心を持ったりしている。 ・学校・PTA・地域の活動や行事に参加している。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満
	②<コミュニティー・ティースクール事業の推進> 学校と地域が協働し、子どもを地域で支え育むため、学校運営協議会を充実させる。 家庭・地域のニーズを把握し、「開かれた学校」として地域や保護者に信頼される学校づくりを進める。	C S 担当 教諭	地域のものや人材の有効活用をはじめ、校内外の課題を効果的に協議・改善するため「学校運営協議会」の運営の充実を努めている。 多様な媒体で「開かれた学校」づくりについて適切に情報を発信している。	【児童アンケート】 ・CS事業を通して、学ぶ楽しさや地域のよさを感じている。 【教職員アンケート】 ・学校運営協議会と目標を共有して、地域をいかに授業を行っている。 【学校運営協議会委員の意見】 ・学校と地域が目標を共有して、連携・協働して活動している。 A: +評価90%以上 B: 80%~ C: 70%~ D: 70%未満